

## 令和6年度 アオコ情報（新川 No. 10・備前川 No. 5）

10月10日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度<sup>※1</sup>は、新川及び備前川の全地点でアオコレベル0相当<sup>※2</sup>でした。

### 新川及び備前川のアオコレベル（カッコ内はフィコシアニン濃度）

<新川>

- ・ 真鍋橋:アオコレベル0相当(< 5 µg/L)
- ・ 城北橋:アオコレベル0相当(< 5 µg/L)
- ・ 神天橋:アオコレベル0相当(< 5 µg/L)
- ・ 新港橋:アオコレベル0相当(< 5 µg/L)

<備前川>

- ・ 備前川橋:アオコレベル0相当(< 5 µg/L)
- ・ 新開橋:アオコレベル0相当(< 5 µg/L)
- ・ 岩田橋:アオコレベル0相当(6 µg/L)
- ・ 竹中橋:アオコレベル0相当(12 µg/L)

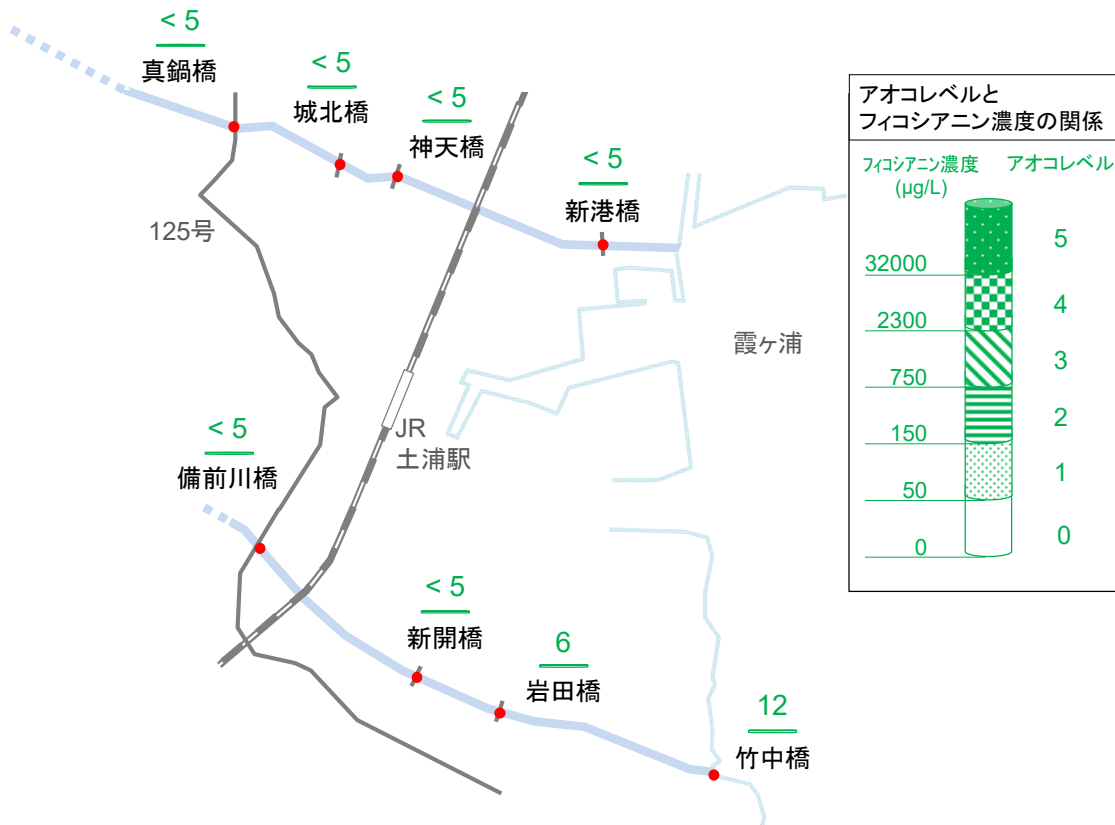


図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP：<http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 µg/L程度、アオコレベル2で150 µg/L程度、アオコレベル3で750 µg/L程度、アオコレベル4で2300 µg/L程度、アオコレベル5で32000 µg/L程度です（小日向ら、2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

● 調査結果の詳細

表 調査結果

	新 川				備前川			
	真鍋橋	城北橋	神天橋	新港橋	備前川橋	新開橋	岩田橋	竹中橋
採水時刻	10月10日	10月10日	10月10日	10月10日	10月10日	10月10日	10月10日	10月10日
	9:18	9:32	9:39	9:55	10:10	10:21	10:30	10:40
水温(°C)	18.8	18.7	19.0	23.5	20.0	19.4	19.0	20.1
pH	7.8	7.6	7.5	7.2	7.4	7.6	7.7	7.7
EC	28	26	25	36	23	15	11	20
透視度 (cm)	40	35	38	> 50	> 50	38	27	30
フィコシアニン (µg/L)	< 5	< 5	< 5	< 5	< 5	< 5	6	12
クロロフィルa (µg/L)	4	5	9	2	5	13	30	21
TN (mg/L)	2.2	2.1	2.2	3.9	1.6	1.4	1.2	1.3
TP (mg/L)	0.23	0.23	0.23	0.27	0.07	0.11	0.13	0.12

【アオコレベル】

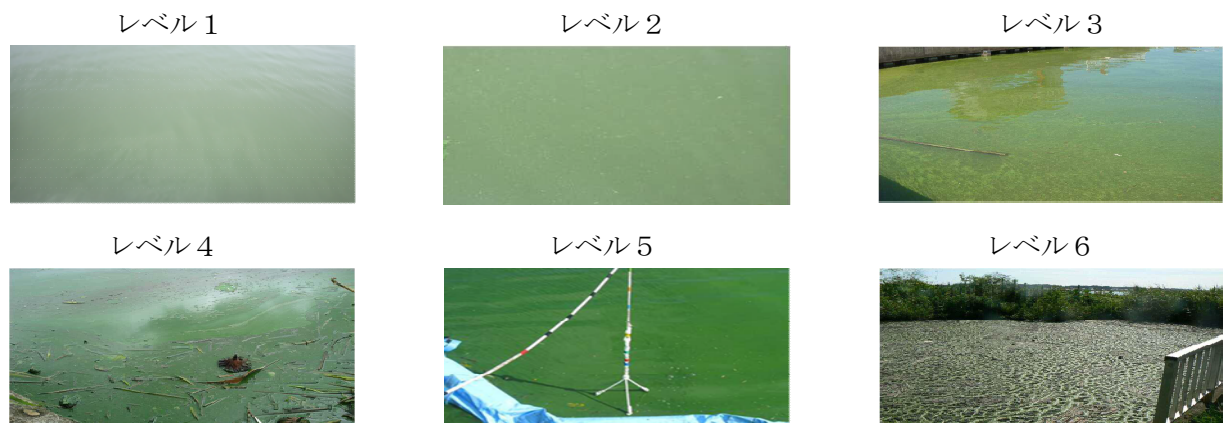


図2 アオコレベル